

令和5年度 もえぎ野地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

- ①高齢や障害などにより生活に支障が生じた際にも孤立することなく、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう『つながる』仕組みづくりを確立する。
- ②重度化・複雑化してからの相談が多いため、早期相談につながるよう、ケアプラザ機能を広く周知する。
- ③何らかの課題を抱えている子どもたちの居場所づくりに取り組んでいるが、支援が必要な子どもに行き届いているか不明のため、学校関係者にアセスメントする。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
1	<input type="checkbox"/>	■ 顔の見える関係づくりのため、サロン等へ積極的に出向くとともに、医療機関や商店等にも、ケアプラザへの相談を促していただけるよう5職種カードを持参し、機能を伝えていく。
2	■ <input type="checkbox"/>	高齢者が、一般・虚弱・障害にかかわらず、楽しむことのできるポッチャをツールに介護予防連続講座を実施する。
3	■ <input type="checkbox"/>	美竹会(みたけ台の老人会)と共催で介護予防普及啓発事業を実施する。
4	■ <input type="checkbox"/>	スクールソーシャルワーカー等に現状のヒアリングを行うとともに、「フリー学習スペース」を周知する。
5	<input type="checkbox"/>	■ 自治会町内会会議、地区社協、地域のサロン、老人会等で、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に理解のある住民を増やす。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ①老人会・地域住民向けに認知症サポーター養成講座を実施し、サポーターを養成することができた。また、キャラバンメイトの活躍する機会をつくることができた。その他に、ポッチャ講座を指導者育成編とその指導者が指導しながら参加できる講座に分けて開催することで、ポッチャの指導者として、ボランティア登録に繋がった。引き続き、新たな担い手を発掘するとともに、『つながる』機会を創出することを継続する。
- ②サロン、老人会、ボランティア会等へ出向き、5職種カードを広く配布。また、ケアプラザから離れた場所(みたけ台)で介護予防の講座として栄養・口腔・ロコモ予防の講座を行い、ケアプラザと介護予防の必要性を周知したこともあり、相談件数が増加した。今後は、ケアプラザに馴染みのない方を対象にした新たな仕掛けを検討し、ケアプラザの機能や介護予防の必要性を引き続き、広く周知していく。
- ③近隣の小中学校の全校生徒やもえぎ野まつり参加者に「フリー学習スペースいこっと」のチラシを配布し、生徒や保護者に向けての周知することができた。学校関係者と情報共有できる関係づくりをしていくことが必要。

区からのコメント

・年間通して、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症普及啓発に向けた取組を実施していただきありがとうございます。特にアルツハイマー月間に開催した認知症サポーター養成講座では40代、50代の若い世代の方にも参加していただき、幅広い世代への認知症普及啓発のきっかけとなったかと思えます。次年度以降も地域住民向けに開催予定とのこと、さらなる啓発に期待しております。

・高齢者、障害者に限らず、皆がつながれるツールとして、ポッチャを活用し、指導者ボランティアも育成されています。地域のみなさんがポッチャを通して、よりつながれるように引き続き支援をお願いいたします。

・複合的課題を抱える世帯や認知症単身者、高齢者のみ世帯など、今後も増えることが予想され、重度化、複雑化してからの相談をできるだけ回避したいものです。そのための5職種カード、遠方地域でのサロン立ち上げ、研修、広報等、尽力いただいています。地域からの発信力を上げるために引き続き、地域ケアプラザの周知をよろしく願います。

・フリー学習スペースをこども食堂と日程を合わせて開催し、学習支援ボランティアの見守りを配置するなど、学生が集える場を意識的に作っていただいています。実際に、継続的に学生が集っており、必要時には支援機関につなげられています。フリー学習スペースを必要とする方へ情報が届くよう、今後も関係者間の連携、場の維持、周知を願います。

令和5年度もえぎ野地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>1 地域包括支援センターにおいて、相談者が事業所選択をする際、公正中立を保つため、介護サービス事業所一覧等を活用し、必要な情報を提供します。 また、相談者への公平中立に関するアンケートを実施し、対応の振り返りを行います。</p> <p>2 介護保険事業においては、サービス事業所の選択において、公正中立に基づき、利用者の課題を解決できる事業所を選択します。情報公表の評価や届出状況等を把握し、客観的に評価が高く、法令遵守している信頼のおける事業所を紹介するよう努めます。</p>	<p>1 運営施設の事故報告だけでなく、法人全体における事故報告を集計分析するとともに、職員間で共有します。その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てます。また、ヒヤリハット事例の抽出・共有を行い、事故や事故までには至らない潜在リスクの情報についても職員全体で共有・分析し、事故防止に生かします。</p> <p>2 個人情報保護に関する研修を実施し、誓約書を全職員と取り交わすことで意識啓発並びに体制整備を行い個人情報の保護に努めます。また、ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、必要時以外の外部持ち出しの禁止といった事業所内ルールを職員に定期的に注意喚起します。ボランティアや実習生に対しても、施設内で知り得た情報の守秘義務について徹底します。</p>
実績	<p>○業務委託や物品購入の際に法人の規定に基づき、複数業者より見積書を徴する等公正に業者選定を行いました。</p> <p>○公正・中立性に関する利用者アンケートを実施し、2名の方から介護事業所一覧表の提示やサービス選択際の意向確認があったと回答をいただきました。</p> <p>○公正・中立性の確保に向けて「事業所の比較検討に関する利用者ガイドライン」に則り、日頃よりホームページ等の一覧表を提示し、相談者の方の意向を聞いた上で、事業所の空き状況を確認し、お伝えするといった取り組みを実施しています。</p>	<p>○ヒヤリハット事例を記録に残し、朝・夕のミーティングで共有しました。また、法人全体のヒヤリハットと事故事例や横浜市内で発生した事故についての共有もを行い、事故防止に努めました。</p> <p>○個人情報の取扱については、研修を実施し全職員と誓約書を取り交わし、日常的には朝・夕のミーティングで注意喚起を行っています。また、法人で作成している「コンプライアンス推進ハンドブック」を常に携帯し、職員一人ひとりが市民の願いや期待に応えられる行動を意識して業務に取り組みました。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ご利用者が目標を持って健康増進や介護予防に努め、自立した生活を送ることが出来るよう支援します。また、職員及び地域のケアマネジャーが地域包括ケアシステムを意識したケアマネジメントに取り組めるよう支援します。	ご利用・ご家族の意思を尊重し、住み慣れた地域で自立した日常生活が継続できるように、地域の医療・福祉・ボランティア等を総合的に提案・調整し、効率的な支援を行います。また、ケアマネジャーの資質向上のため包括と共に事例検討等を実施し、より良いケース対応に努めます。
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	<p>管理者 主任ケアマネジャー 1名(常勤職員)</p> <p>社会福祉士 2名(常勤職員)</p> <p>保健師等 1名(常勤職員)</p>	<p>管理者 1名(常勤兼務)</p> <p>介護支援専門員 3名(常勤職員兼務1名、常勤専従1名、非常勤専従1名)</p>
契約者数	350名	104名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	<p>1 ご利用者・ご家族へ寄り添い、安心して自分らしく暮らすための支援を多職種また地域の方々と協働し進めます。</p> <p>2 地域のつながりを大切にし、利用者を含む地域住民が主体的に助けあい、支えあうまちづくりが実現に向け、ボランティアの受け入れを進め、どなたでも参加できる居場所や役割のある地域づくりを進めます。</p>		
実施体制	<p>【実施日数】 週7日(8月より週6日) ただし、12月29日から1月3日までを除く</p> <p>【提供時間】 10:15～15:20</p> <p>【定員】 45名</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>	<p>【実施日数】</p> <p>【提供時間】</p> <p>【定員】</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額</p>
	<p>【その他料金】 昼食代:800円</p>	<p>【その他料金】</p>	<p>【その他料金】</p>
職員体制	<p>管理者1名(常勤兼務) 生活相談員4名(常勤兼務2名・非常勤兼務2名) 看護師5名(非常勤兼務5名) 機能訓練指導員5名(非常勤兼務5名) 介護職員(常勤兼務2名・非常勤兼務11名)</p>		
契約者数等	<p>【延べ利用者数】5995名</p>	<p>【延べ利用者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p>
	<p>【契約者数】70名</p>	<p>【契約者数】</p>	<p>【契約者数】</p>

令和5年度「もえぎ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,422,467		16,422,467	16,422,467	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	40,600	△ 40,600	
雑入	0	0	0	192,066	△ 192,066	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	162,546	△ 162,546	
その他			0	29,520	△ 29,520	
その他	4,073,000		4,073,000		4,073,000	
収入合計	20,495,467	0	20,495,467	16,655,133	4,305,666	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,988,467	0	11,988,467	11,341,704	646,763	
本俸	9,603,467		9,603,467		9,603,467	
社会保険料	729,000		729,000		729,000	
手当計	917,000		917,000		917,000	
健康診断費	12,000		12,000		12,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000		6,000	
退職給付引当金繰入額	82,000		82,000		82,000	
その他	639,000		639,000	11,341,704	△ 10,702,704	
事務費	200,000	0	200,000	1,525,683	△ 1,325,683	
旅費	7,000		7,000	7,876	△ 876	
消耗品費	100,000		100,000	499,018	△ 399,018	
会議随費	0		0	45,312	△ 45,312	
印刷製本費	5,000		5,000	52,800	△ 47,800	
通信費	5,000		5,000	39,560	△ 34,560	
使用料及び賃借料	0	0	0	29,520	△ 29,520	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	29,520	△ 29,520	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	33,000		33,000	0	33,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	13,000		13,000	13,616	△ 616	
職員等研修費	10,000		10,000	3,336	6,664	
振込手数料	17,000		17,000	0	17,000	
リース料	10,000		10,000	47,341	△ 37,341	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	23,000	△ 23,000	
その他	0		0	764,304	△ 764,304	
事業費	2,280,000	0	2,280,000	159,999	2,120,001	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,280,000		2,280,000	159,999	2,120,001	
その他	0		0	0	0	
管理費	4,470,000	0	4,470,000	5,523,120	△ 1,053,120	
光熱水費	3,091,000		3,091,000	3,903,255	△ 812,255	
清掃費	400,000		400,000	528,936	△ 128,936	
機械警備費	50,000		50,000	50,105	△ 105	
設備保全費	929,000	0	929,000	955,825	△ 26,825	
空調衛生設備保守	152,000		152,000	152,695	△ 695	
消防設備保守	120,000		120,000	127,160	△ 7,160	
電気設備保守	28,000		28,000	48,968	△ 20,968	
害虫駆除清掃保守	18,000		18,000	19,739	△ 1,739	
駐車場設備保全費	62,000		62,000	62,632	△ 632	
その他保全費	549,000		549,000	544,631	4,369	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	84,999	△ 84,999	
修繕費	474,000		474,000	101,736	372,264	予算：指定額
公租公課	1,083,000	0	1,083,000	0	1,083,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,083,000		1,083,000		1,083,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,495,467	0	20,495,467	18,652,242	1,843,225	
差引	0	0	0	△ 1,738,230	2,462,441	

自主事業費 収入	0	0	0	40,600	△ 40,600	
自主事業費 支出	2,280,000	0	2,280,000	159,999	2,120,001	
自主事業 収支	△ 2,280,000	0	△ 2,280,000	△ 119,399	△ 2,160,601	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	162,546	△ 162,546	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	29,520	△ 29,520	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	133,026	△ 133,026	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「もえぎ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	36,915,705		36,915,705	32,803,401	4,112,304	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,875,576		5,875,576	5,875,576	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			6,916,000		6,916,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他	6,916,000		6,916,000		6,916,000	
収入合計	49,861,281	0	49,861,281	38,832,977	11,028,304	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	45,470,283	0	45,470,283	33,628,792	11,841,491	
本俸	25,914,283		25,914,283		25,914,283	
社会保険料	5,326,000		5,326,000		5,326,000	
手当計	6,063,000		6,063,000		6,063,000	
健康診断費	63,000		63,000		63,000	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000		36,000	
退職給付引当金繰入額	1,786,000		1,786,000		1,786,000	
その他	6,282,000		6,282,000	33,628,792	△ 27,346,792	
事務費	450,000	0	450,000	444,674	5,326	
旅費	35,000		35,000	30,371	4,629	
消耗品費	80,000		80,000	46,314	33,686	
会議用費	6,000		6,000	4,152	1,848	
印刷製本費	120,000		120,000	0	120,000	
通信費	50,000		50,000	286,515	△ 236,515	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	90,000		90,000		90,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0	3,619	△ 3,619	
職員等研修費	26,000		26,000	30,156	△ 4,156	
振込手数料	9,000		9,000		9,000	
リース料	23,000		23,000	9,421	13,579	
手数料	0		0		0	
地域協力費	11,000		11,000	11,000	0	
その他	0		0	23,126	△ 23,126	
事業費	2,627,998	0	2,627,998	563,655	2,064,343	
協力医	630,000		630,000	189,000	441,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,623,998		1,623,998	30,984	1,593,014	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	150,400	3,600	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	193,271	26,729	
その他			0		0	
管理費	1,187,000	0	1,187,000	1,468,158	△ 281,158	
光熱水費	959,000		959,000	1,037,573	△ 78,573	
清掃費	80,000		80,000	140,603	△ 60,603	
機械整備費	13,000		13,000	13,319	△ 319	
設備保全費	135,000	0	135,000	254,069	△ 119,069	
空調衛生設備保守	40,000		40,000	40,589	△ 589	
消防設備保守	33,800		33,800	33,801	△ 1	
電気設備保守	7,500		7,500	13,015	△ 5,515	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	5,246	△ 246	
駐車場設備保全費	16,600		16,600	16,648	△ 48	
その他保全費	32,100		32,100	144,770	△ 112,670	
共益費			0		0	
その他			0	22,594	△ 22,594	
修繕費	126,000		126,000	27,039	98,961	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	49,861,281	0	49,861,281	36,132,318	13,728,963	
差引	0	0	0	2,700,659	△ 2,700,659	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,997,998	0	1,997,998	374,655	1,623,343	
自主事業 収支	△ 1,997,998	0	△ 1,997,998	△ 374,655	△ 1,623,343	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:もえぎ野地域ケアプラザ

5年4月1日～ 6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	18,796	19,714	-918	18,083	14,591	3,492	78,075	54,462	23,613
	その他	0	0	0	0	1,217	0	454	56	181
	事業・負担金収入			0			0	30	40	-10
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0	424	233	191
	収入合計(A)	18,796	19,714	-918	18,083	15,808	2,275	78,529	54,791	23,738
支出	人件費	5,144	867	4,277	13,626	12,590	1,036	48,927	45,480	3,447
	事務費	8	33	-25	48	270	-222	861	697	164
	事業費	52	64	-12	415	42	373	11,760	10,507	1,253
	管理費	0		0	0		0	12,852	10,938	1,914
	その他	9,852	13,717	-3,865	0	0	0	0	47	-47
	利用者負担軽減額			0			0	0	47	-47
	消費税			0			0	0		0
	介護予防プラン委託料	9,852	13,717	-3,865			0	0		0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	支出合計(B)	15,056	14,681	375	14,089	12,902	1,187	74,400	67,669	6,731
	収支 (A)-(B)	3,740	5,033	-1,293	3,994	2,906	1,088	4,129	-12,878	17,007

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	かいごの知恵袋講座	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅で介護を行っている方を対象に、介護に関する情報・役立つ知識等を知ることや介護者同士がつながり通じて、孤独や孤立することなく社会とつながり介護に向き合うことを目的とする。	5:地域		介護に役立つ介護者向け講座と交流の場。奇数月は講座。偶数月は交流メインで実施。(8月休会)	11	66
2	キャラバンメイト連絡会	H28	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	キャラバンメイトの意欲を実際のサポーター養成講座の開催や地域向け認知症理解の取り組みに繋げていくことを目的とする。	5:地域		キャラバンメイト間の意見交換、交流によるチーム育成。認知症サポーター養成講座開催等、具体的な活動内容の検討、準備を行う。また、自主運営に必要な研修を実施する。年2回開催。	2	12
3	認知症サポーター養成講座	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民同士で認知症について理解し、見守りあえる関係を築くようにするため、認知症の普及啓発や利用促進も目的とする。	5:地域		小・中学校、高齢者施設、地域住民、企業を対象に行う。年2回上下半期各1回実施予定。	11	301
4	男性のための嗜み講座 大切な人に贈る『男性のためのフラーアレンジメント』	R4	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	概ね55歳以上の地域に住む定年前後の男性を対象に、介護予防のひととして社会参加できる具体的な取組の体験講座を実施。新たな活動の担い手を発掘・育成を目的とする。	5:地域	1:高齢者	2023/4/20 ※令和4年度中止になったフラーアレンジメント体験講座と介護予防の具体的な取組についてのミニ講座。再調整にて実施。4/20	1	9
5	みたけ台介護予防講座	R5	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域ケアプラザより遠方のみたけ台エリアで介護予防の連続講座を実施し地域住民が地域ケアプラザを身近に感じ、早い段階での相談につながる等の顔の見える関係づくりができる。	1:高齢者		、介護予防の具体的な取組方法や地域ケアプラザの機能周知、ハマトレを中心とした運動講座。6/14、9/13、10/11	3	112
6	ポッチャ講座(仮称)	R5	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	虚弱・障害・健常など様々な背景の高齢者がポッチャをツールに、社会参加と仲間づくりが行えることを目的とする。	1:高齢者	5:地域	ポッチャ体験。介護予防ミニ講座。	6	78
7	ハマトレ講座(仮称)	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ハマトレに取り込むグループリーダーやメンバーを対象に手技やその意義を確認する事で、活動者のモチベーションの維持向上を目的に実施。	5:地域	1:高齢者	ハマトレ講座と介護予防の具体的な取組方法について 10/4、11/8、12/3	3	39
8	もえぎ野配食	H13	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	包括エリア内の独居高齢者および高齢者世帯等の要援護者の安否確認を目的とする。弁当の配達部分については、個人ボランティアが担当。	1:高齢者		毎月第1火曜日の昼食の弁当配達を行う。プラザ居宅部門と包括部門のケースの安否確認を行い、利用者の状況を把握する。調理の部分はボランティアグループ「ミントの会」に依頼、配達部分は「もえぎ野配食サポーター」が担当。	9	148
9	親子のひろば「てとととおおば」	H13	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に未就園児とその家族を対象に子育てを支援する。また、参加する母親同士の交流の場、育児リフレッシュのを提供し、母親支援も行う。	3:養育者及び乳幼児		親子が一緒に集える広場を実施。親同士のつながりを通じて、育児リフレッシュの機会として利用する。子育てを引退したスタッフ、子育て中のスタッフが中心となって広場を運営する。出入り自由、事前予約不要。<第1・2・5月曜日、第2水曜日、第4火曜日>	34	673
10	図書貸出事業	H18	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	世代を超えた幅広い層の地域住民がケアプラザに来館することで、福祉保健活動に関心を持ち、地域活動に参加する市民のすそ野を広げることを目指す。	5:地域		図書の貸出と、ボランティアグループ協力による蔵書管理を行う。<図書貸出:随時>	73	242
11	もえぎ野茶屋	H30	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	上谷本・谷本地区および周辺に在住で、外出の機会が少ない概ね65歳以上の高齢者の交流・健康づくりを目的とする。また、ケアプラザ登録団体にボランティア活動等の協力をしてもらい、団体の福祉保健活動を発展させるきっかけの場としても活用する。	1:高齢者		参加者は、講師の指導のもと体験に取り組み、その後お茶を飲みながらの社会的交流を図る。ケアプラザは参加者のニーズ把握や地域情報提供の場とする。<第2水曜日>	12	192
12	フリー学習スペース「いこっと」	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	放課後、学習する場のない小学生・中学生が学習できる環境を整備し提供する。学習を通して放課後の居場所となるほか、経済的に塾に通うことのできない児童を支援することを旨とする。	4:子ども・青少年		小学生と中学生が自由に自分のスペースで学習に取り組むことが可能なスペースを開放。学習支援できるボランティアが2名在室し、質問等について対応する。<毎週水曜日>	49	815
13	あおば子ども食堂	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもの居場所や子どもの貧困等、社会的孤立の現状把握・解決につなぐことを目指す。あおば子ども食堂実行委員会および青葉区社協と共催で実施。尚、同日に他3施設(ふれあい青葉・さつきが丘CP美しが丘CP)も実施し、区内各エリアの特性をより把握する。	4:子ども・青少年		子ども食堂実行委員会のボランティアによる手作りのお味噌汁とおにぎりを提供する。参加費は100円。<毎週水曜日>	40	2249
14	あつたがネットワーク	H28	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	もえぎ野地域ケアプラザのエリア(上谷本地区・谷本地区)で活動する人が集まり、この地域の課題を出し合い、それに対するイベントや事業を実施する。	5:地域		福祉教育・啓発活動、見守り、多世代交流の場の開催等、地域課題を共有し、解決策を検討。地域住民や商店会等と協力して、具体的な活動を行う。対象は分野を超えた全住民。	5	63